

家畜衛生情報（牛編）

☆ヨーネ病定期検査

対象地区は 琴浦町（旧東伯町）

- ①本年度対象農家の皆さんに連絡し、日程調整を行います。
- ②検査当日、牛舎で検査対象牛（24ヶ月齢以上の繁殖雌牛）をつなぎ、採血のための保定もお願いします。
- ③検査頭数に応じて、検査手数料が発生します（700円／頭）。検査手数料について、酪農家は乳代引き、和牛繁殖農家は当日、現金でお支払いください。

☆県外導入牛の検査

■全頭、ヨーネ病と牛ウイルス性下痢症(BVD)の検査が必要となります（無料）。到着・隔離後、各農協、家保へ連絡をお願いします。



ヨーネ病とは？



- 牛の腸管に **ヨーネ菌** という細菌が感染しておこる疾病で発症すると**頑固な慢性下痢**を繰り返します。
- 感染源は、感染牛の**糞便**や、**ヨーネ菌に汚染された乳汁、水、エサの経口摂取**です。
- 潜伏期間が長く、**子牛期に感染し、数年後に発病**することが多く、**導入牛から同居牛に感染を広める恐れ**があります。
- 潜伏期間中の牛は検査で検出できないことが多いため、**繰り返しの検査（3年に一回）**が必要となります。ご協力をお願いします。
- 有効な**治療法やワクチンが無く**、家畜伝染病予防法の「**法定伝染病**」に指定されており、検査陽性牛は**殺処分**の対象となります。

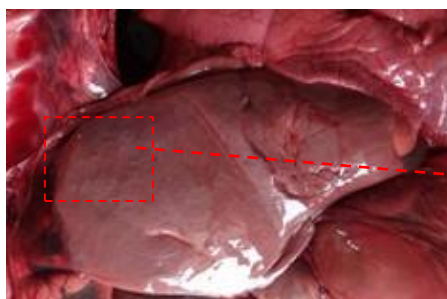
リステリア症にご注意ください

リステリア症はヒトや牛に脳炎を引き起こす細菌性疾病で、妊娠後期の流産の原因ともなります。県内の牛においても、数例の報告があります。低品質なサイレージの給与が感染源となりますが、稲WCSやイタリアンのサイレージなどはコーンサイレージと比較して、pHが下がりにくいことが多く、注意が必要です。

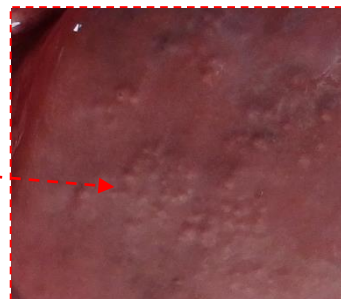
- 原因 : *Listeria monocytogenes* (リステリア・モノサイトゲネス)
症状 : 脳炎(旋回運動が特徴)、妊娠後期の流産、まれに敗血症、乳房炎等
感染源 : 土壌や環境に存在し、発酵不十分なサイレージ内で増殖し、感染源となります。(pH4.4以上で発育)
治療 : 脳炎発症初期であれば、ペニシリン、OTCなどの投与
病変 : 脳炎型 脳幹部に微小膿瘍
流産型 母牛の胎盤炎や胎児の敗血症(肝臓等に微小な膿瘍形成)
その他 : 妊娠牛や免疫の低下した牛は発症のリスクが増加します。
対策 : カビたサイレージや穴の開いたラップサイレージなどはできる限り給与を控えることが重要です。



流産胎児



胎児の肝臓



リステリアによる
小さな膿瘍

令和3年度 倉吉家畜保健衛生所スタッフを紹介します

所長 井上 禎文 病性鑑定室長 石井 亮

次長(衛生指導担当課長補佐兼務) 森本 一隆

《 衛生指導担当 》

係長 中村 耕太郎
技師 米原 尚子
技師 三井 香保
会計年度 牧田 知美

《 防疫担当 》

課長補佐 千代 隆之
課長補佐 大石 美智子
技師 小林 努
技師 岸田 祐

《 病性鑑定室 》

課長補佐 小谷 道子
係長 錫木 淳
技師 田中 勝貴
技師 山崎 健太
技師 高木 翔矢
会計年度 井戸 智子

《 CSF・ASF検査施設 》

会計年度 赤井 精
会計年度 手嶋 寿幸

家畜に異常を見つけたら/家畜衛生に関する問い合わせは…

倉吉家畜保健衛生所 (0858) 26-3341 (夜間・休日は緊急連絡先に自動転送)

この情報は家保が配布した紙ファイル等に綴って下さい